東アジア経済統合と安全保障の連関
－国際政治学の視点－

湯川　拓
（東京大学）

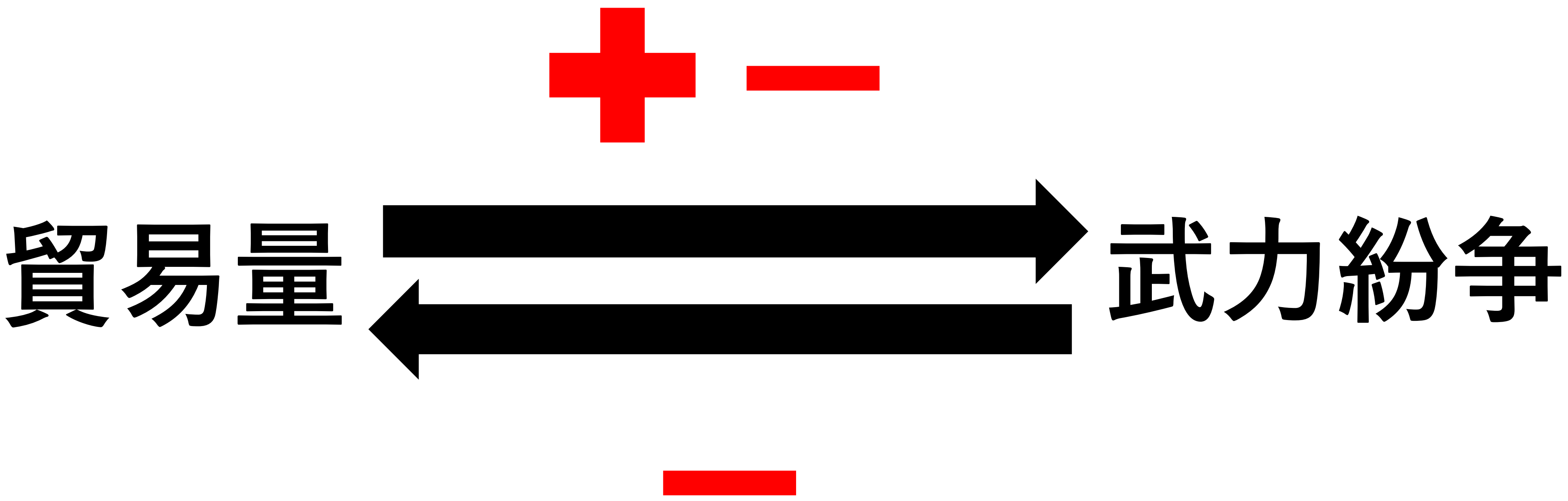
目的

- 国際政治学（の理論的）観点
- 経済と安全保障の連関

①貿易は国家間関係を平和的にするのか？

②経済統合（FTA）に安全保障要因はどのようにかかわっているのか？

国際政治理論における
経済と安全保障の連関



理論から見た東アジア

東アジアは理論的には特徴的な地域

①政冷経熱

②長い平和（商業的平和？）

FTAと安全保障のリンケージ

・理論的にも「同盟国はFTAを締結しやすい」など

・アメリカにおいて顕著（東アジアでも）

・中国でも安心供与として

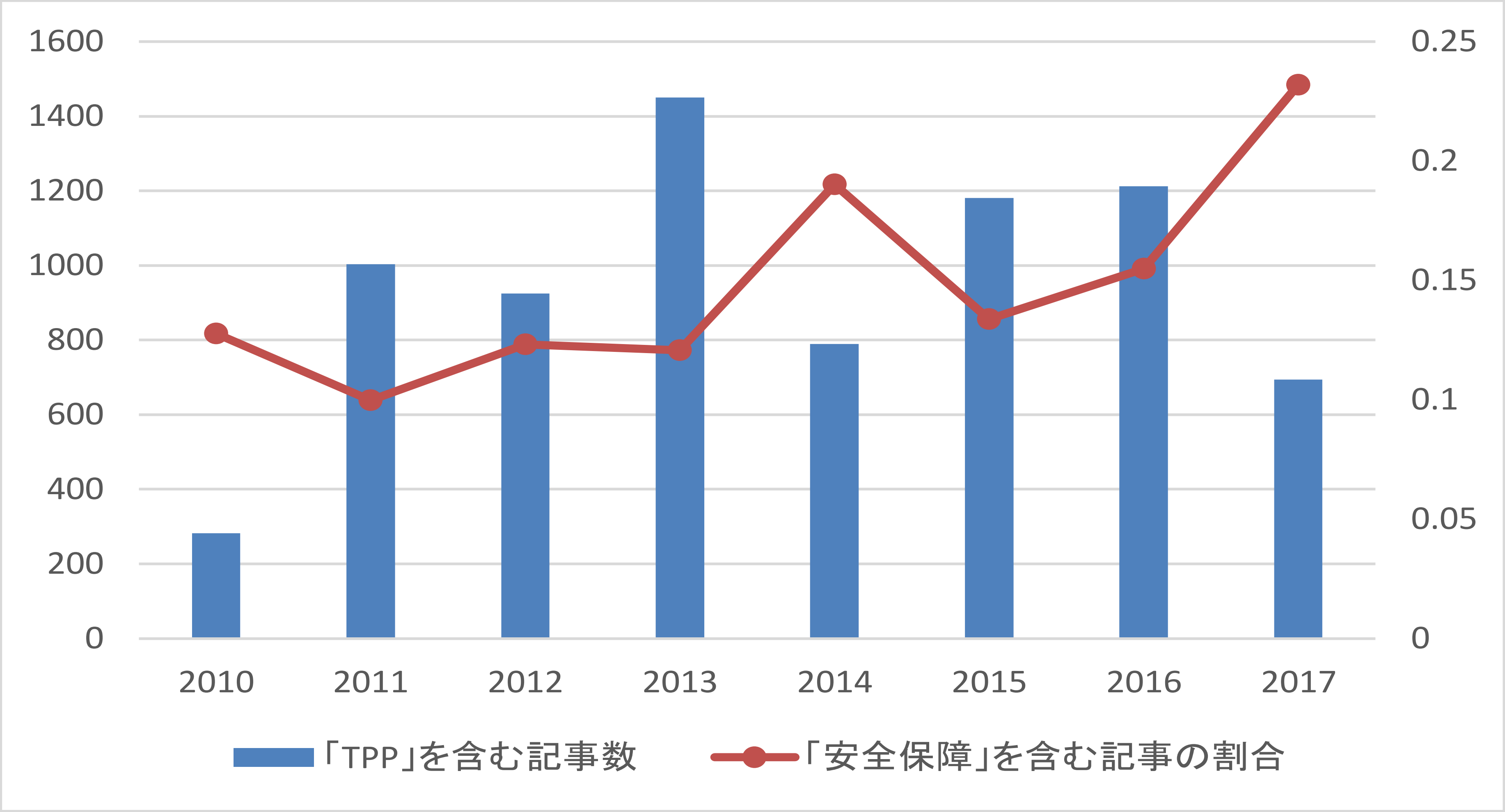
TPP

・「単なる貿易協定ではない」

・アジア太平洋における通商のルール作り

・安全保障上の恩恵

新聞記事におけるTPP



出典：「日経テレコン」より日本経済新聞本紙（朝刊）に限定して集計

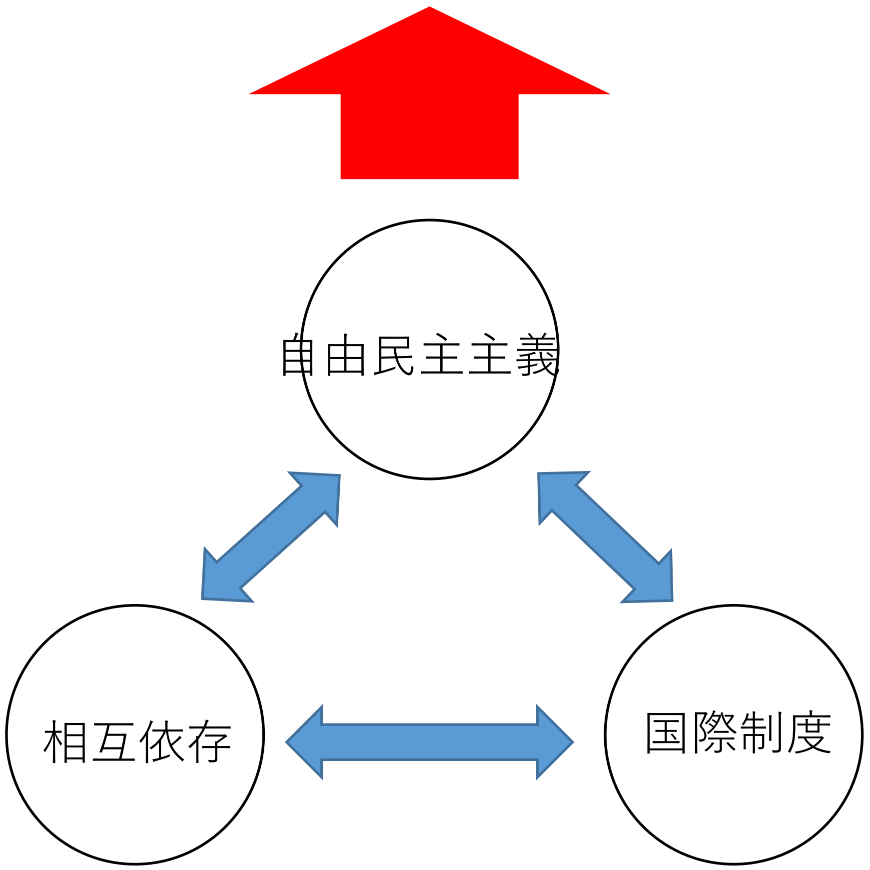
COVID-19

・世界が劇的に変質したというよりは、それまでにあったものが顕在化／加速した（COVID以前から「転換点」の指摘）

・米中新冷戦

・「リベラル国際秩序」の動揺（中国の台頭、先進民主主義国におけるポピュリズムとナショナリズム）

・異なる「圏」の創造へ？

アメリカの覇権

開放的
法とルールに基づく
協調的／互恵的